

事例研究2

新入社員フォローアップ研修 「社会人基礎力強化」に DiSC®を活用

東芝総合人材開発株式会社

東芝総合人材開発株式会社
グループ共通研修部

柄澤 秀昭氏



自分の強み、弱みを抽出してシートで「見える化」

柄澤氏は大手電機メーカー東芝グループの教育研修を担う東芝総合人材開発(株)に所属されており、今回の事例研究では、東芝の社内研修「新入社員フォローアップ研修」の「社会人基礎力強化」にDiSCを活用したケースを紹介していただいた。これを通じて、DiSCがどのように内製化に活用されているかまでうかがい知ることができたといえる。

「社会人基礎力」とは、経済産業省によれば、「基礎学力、専門知識に加え、それらを活用して多様な人と仕事をしていく上で必要な能力」のことである。具体的には、「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つと、それに付随する12の能力要素項目からなっている。

柄澤氏は「社会人基礎力強化」にDiSCを導入するに当たり、研修受講者に、「自分のどこが強みで、どこが弱みなのか」を認識させることから始めたと話している。

「この『強みと弱みの把握』には、これまで『自己診断シート』を用いていましたが、今年はDiSCを意識した項目に作りかえることにしました。そして、自分の課題を自己分析(数値化)させ、それをチャート図にして『見える化』し、次に自己の弱みを改善させる取り組みへとつなげていきました」

高い課題、低い課題の双方から 自分をより効果的にするポイントを整理

こうして自己分析を行った後、DiSCを使って「自分をより効果的にするポイント」をテーマに研修を行った。

その中でより効果的になるために、「自分が強い(高い)スタイル」と「弱い(低い)スタイル」をチェックさせ、「自分が取り入れたい、取り組みたい項目」に○印をつけ、次に「自分の改善ポイント」を簡条書きにして書き出させた。「最初は、高い課題だけをチョイスしていたのですが、HRD社からのアドバイスで、高い要素で発揮できている行動と、低い要素で発揮できていない行動の双方を自覚させることから自分が効果的になるポイントを整理させ、『チャレンジ目標』を立てさせたことで、受講者の納得感

を高めることができたと思います」

社会人基礎力とDiSCの紐付けの説明に注力

研修2日間のまとめとして使用した「上長への研修報告用の総合シート」について、柄澤氏はどのように進めたのかを参加者にパワーポイントの総合シートを見せながら解説を加えていった。

まず、「総合シート」にこれまでの振り返りから、「自分の強化すべき能力項目」を洗い出させ、次に「社会人基礎力の強化能力項目」の3年目の姿を描かせた。さらに、DiSCの行動スタイルと関連づけて自分の「強み」「弱み」を明らかにさせて、「自分をより効果的にするチャレンジ目標」を設定し、それを「これから歩むシナリオ」につなげていった。

「社会人基礎力の『強み』『弱み』は、DiSC行動スタイルの影響を受けている部分が多く、その紐付けの説明をしっかりと行うことがポイントでした。最終的には、DiSCに対応することが、社会人基礎力の各能力要素項目へ効果的に関わることにつながり、さらにメンタル不調者の低減にも効果を発揮していくものと思えます」と柄澤氏は研修について振り返られた。



参加者アンケートより感想抜粋

- ・内製化に対する考え方を学ばせていただきました。
- ・社会人基礎力とのジョイントという発想がとても新鮮でした。
- ・社会人基礎力とDiSCの兼ね合いを考えていたので、大変参考になりました。
- ・新人フォローの活用例として興味深い事例でした。